

市原米沢の森を考える会

「市原米沢の森を考える会」の活動は樹齢八〇年を越す行人塚のヤマザクラを保護しようとして整備に着手したのが始まりです。その後、遊歩道や周辺施設の整備を進める中で、チェンソーや刈払い機などの講習も重ね、技術の向上も図ってきました。最近では大学生を対象とした体験講座も開催し活動のエリアが一段と広がりました。幼児から高齢者まで幅広い世代による活動の場も設けられており、身近な歴史文化を守る活動が進んでいます。



千

葉県（千葉県）の山はすべてが里山といわれるほど、なだらかな丘陵状の森林がその多くを占めています。かつては人びとの暮らしを支え、地域の文化を育んできた森林。それが社会や経済の変化とともに利用されなくなり、人びととの係わりがすっかり希薄になってしまいました。

市原市にある市原米沢の森も古くから地元の人びとの手で守られ、信仰の森として、また、地域住民の文化活動や娯楽の場として広く活用されてきました。谷には谷津田の形跡が残されており、農業用水を確保するための堰（池）がいくつか残って

いて、往時の人びとの生活をしのべるものがあります。

藪に埋もれた地域の歴史文化

市原米沢の森は、千葉県が宅地開発を行うため購入した里山林でしたが、その後の情勢変化により開発が中止され、森林は放置されて篠竹等で過密になり、人を寄せ付けない暗い森になってしまいました。八二鈔という広大なこの森には、出羽三山信仰の石碑や行人塚など地域の歴史文化が隠れています。また、標高一六二鈔の御十八夜（おじゅうはっちゃ）は犬吠埼、筑波山、遠くは富士山、浅間山、日光男体山まで眺め



篠竹などの除去作業（写真上）と作業後の境界付近

ることができ、かつて地元の人たちが月見の宴を催していたことからついた眺望ポイントでしたが、今では藪により古道が隠れてしまい、山頂へ行くことができなくなっていました。

活動の端緒はヤマザクラの保護

「市原米沢の森を考える会」は、平成一六年四月、現在、代表を務めている鶴岡清次氏が「米沢の森を再生させよう」と呼びかけ、発足しました。最初の取組は、山の中腹にあつて樹齢八〇年を越す行人塚のヤマザクラを篠竹や葛などから守ることでした。刈払い機を背負い、チェンソー



チェーンソーの講習と伐採の実技指導



作業開始前の説明

をうならせ、一歩ずつ道を開いていくと、うつそうとした森の中に、蔓に絡まれながらも花を咲かせていたヤマザクラがあったそうです。

この行人塚の周囲を整備し、また、急峻な部分には伐採した木を使って階段を作り、麓からヤマザクラまでの遊歩道を整備しました。今では市原市により駐車場やトイレなども整備されており、誰でも森林を楽しめるようになっていきます。

その後も引き続き、行人塚以外のヤマザクラについても篠竹や蔓の除去、間伐等を進めています。行人塚のヤマザクラは、従来藪に閉ざされ箒を逆さに立てたような形だったので「ヤマザクラじゃないだろうといわれていました」（鶴岡代表）が、今では大空にのびのびと枝葉を伸ばして、毎年美しい花を咲かせるようになりしました。また、荒廃した森の整備には欠かせない安全作業やチェーンソー、刈払い機の講習などを実施し、技能の向上にも努めています。

里山の文化を伝える

米沢の森を考える会は、荒廃した里山を活力ある森に復元する取組みと併せて森林の大切さを伝える活動

を展開しており、鶴岡代表は、「今後は森林が果たしている文化面的な役割も伝えていきたい」と意欲を示しています。

市原市の広報誌にも、米沢の森を考える会の活動が取り上げられ、「今年度、『守ろう・伝えよう。米沢の森の景観と歴史・文化を次世代に伝える』活動を進めています。九月一日から一日の三日間、学生対象の里山体験講座として御十八夜からの銚子方面の景観整備が実施されました。四〇名の大学生たちの手でスギ林の除伐・間伐や篠竹刈りが行われ、藪の草刈り等によって金堀台古墳周辺の道が整えられ、女塚と男塚が悠久の時を超えて対面することができた」と紹介しています。

一月七日には、景観まちづくり千葉協議会主催で、

「景観まちづくりフォーラム in 市原米沢の森」が開催され、幼児から高齢者まで八〇人ほどが参加しました。行人塚の広場で森林が環境や地球温暖化対策に果たしている役割



大学生を対象とした整備説明

等が説明された後、御十八夜まで参加者が元気に登山してすばらしい眺望を楽しみました。

今後の取組

米沢市民の森を考える会の二年度の取組目標は次の通りです。

◎米沢の森は地域の宝、人びとの居場所「癒しの森」をめざす

◎継続的に実施すること ①米沢の森の市道・赤道の整備と保全 ②森林の間伐・下草刈り・蔦切り等の整備保全

◎今年度の目標 ①御十八夜からの景観として、銚子犬吠灯台方面の整備 ②歴史や文化の聞き取り調査 ③平成二二年元旦に「初日の出とかぎろいを観る会」開催予定。

市原米沢の森を考える会

2004年4月1日設立
千葉県里山センター会員
代表：鶴岡 清次
住所：〒290-0509
千葉県市原市安久谷102-8
電話・FAX：0436 (92) 1196